科目名	日本文化研究Ａ	科目ナンバリング	L-JSCL3-10.U	単位数 時　間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
		科目コード	J56021		30時間				

区分	専門教育科目	選択	担当者名	鎌田　学	授業 形態	講義	単独

授業の概要等	〔授業の主旨〕 大森貝塚を発見したことで知られる米の生物学者エドワード・モース(1838-1925)の滞在日記『日本その日その日』(1917)を読む。明治の日本人をどのように観察し、文化的な差異をどう語っていたかを探りたい。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5に関連し、カリキュラムポリシーの5-4に関連している。
到達目標	文章読解力を高めるとともに、近代日本と日本人のあり方について理解を深める。

授　業　計　画

回	主　題	授業内容・授業時間外の学修	備考
第1回	ガイダンス	授業の進め方	
第2回	1877年の日本、日光への旅	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第3回	日光の諸寺院と山の村落、再び東京へ	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第4回	大学の教授職と江の島実験所、漁村の生活	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第5回	江の島での採集、東京の生活	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第6回	大学の仕事、大森に於ける古代の陶器と貝塚	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第7回	六か月後の東京、北方の島　蝦夷	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第8回	アイヌ、函館及び東京への帰還	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第9回	日本のひと冬、長崎と鹿児島とへ	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第10回	南方の旅、講義と社交	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第11回	1882年の日本、陸路京都へ	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第12回	瀬戸内海、京都及びその付近での陶器さがし	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第13回	東京に関する覚書	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第14回	鷹狩その他	講読、問題提起	プレゼンテーション＆ディスカッション
第15回	まとめ	全体をまとめる	プレゼンテーション＆ディスカッション

評価方法及び評価基準	授業への参加度（50%）、期末試験(50%)。後者の評価は、小論文の内容、論理的構成、表現の正確さの観点によって行う。
課題等	事前に予定範囲を必ず読んでおくこと。
事前事後学修	予習に3時間程度必要。
教材教科書参考書	『日本その日その日』（エドワード・シルヴェスター・モース、石川欣一訳、講談社学術文庫1100円、ISBN978-4062921787）
留意点	初回時に必ず教科書持参。